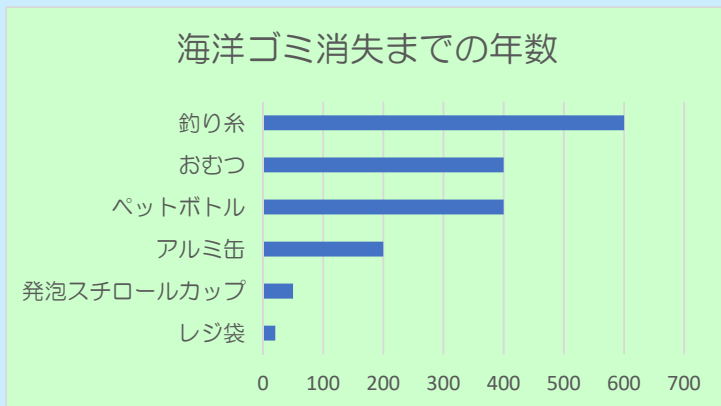


廃棄プラスチック問題



■図1



■図2：海岸に漂着するプラスチックゴミ

TVや新聞でプラスチックゴミの問題がクローズアップされています。
6月28日(金)と29日(土)に開催される「G20サミット」でも、
海洋プラスチック削減への議論を行う方策が話し合われる予定です。



海洋ゴミが自然分解される年数が表示しています(図1)
レジ袋で**1~20年**、ペットボトルでは**400年**も必要になります。
釣り糸(分解まで600年)がウミガメや魚に絡んでしまう事故も多く発生し、
海岸に漂着したゴミはいつまでも消失せずに残ります。(図2)

レジ袋の有料化が**2020年4月1日**から開始される予定です。
日本以外の国々では、レジ袋有料化や禁止の国々が増えています。
ハワイ州では**フラレジ袋**が禁止されているので、紙袋を使っています。
フランスでは今後、使い捨て容器へのプラスチック製品の使用が禁止されます。
(導入日：2021年1月1日～)



- ・私たちにできることは、なんだろう? ⇒ プラスチックゴミを出さない意識を持つ
- ・身近なことから、はじめよう! ⇒ プラスチック代替品の使用(ストロー・容器)
- ・プラゴミをできる限り発生させない ⇒ マイバッグ・マイボトルを使う

2019年5月エコアクション活動実績

	内容	目標	5月実績	達成度合	判定
節電大臣	使用量前年同月比10%削減	1,385 kwh/月	1,191 kwh	116.3%	達成
節水大臣	使用量前年比10%削減	11.842 m ³ /月	10.525 m ³	112.5%	達成
ごみ処理大臣	ゴミ総排出量削減 目標30.03Kg以下	30.03 Kg/月	54.40 Kg	55.2%	未達成
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進80%以上	80 %/月	91.7 %	114.6%	達成
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	1 件/月	1 件	100.0%	達成